

# 第6回 シンポジウム 生物物理学の新展開

2024年 4月 26日 (金) 16:50-18:30

東京大学本郷キャンパス 理学部4号館 1220 教室

東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅

TEL: 03-5454-6751

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

近年の技術革新などによって新展開を見せている  
生物物理学研究の面白さを、  
学部生にもわかりやすく解説します。



川口 喬吾 生命の設計原理の探索：物理学・進化系統樹からのアプローチ

古澤 力 ラボオートメーションによる大規模進化実験：進化の予測と制御に向けて

伊藤 創祐 生体内での熱力学的散逸による限界

太田 禎生 ネットワーク化する生命計測

参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり

